

2024年「二十歳の祝賀祭」市長メッセージ

ただいまご紹介いただきました多摩市長の阿部裕行です。「多摩市二十歳の祝賀祭」にご出席された皆さん。本日は、誠にありがとうございます。この祝賀祭は、多摩市内にある九つの中学校の卒業生の皆さんにより、実行委員会を結成し、幾度も会合を重ね、本日の祝賀祭を迎えることとなりました。私は、この手作りによる「多摩市二十歳の祝賀祭」は多摩市らしさを感じる、まさに多摩市の誇りと思っています。改めて準備いただいた17人の実行委員の皆さんに感謝申し上げます。

それにしても2024年・辰年のお正月。能登半島で発生した地震そして羽田空港での飛行機事故と衝撃的な幕開けとなりました。皆さんの中にも被災された地域がご出身あるいは親戚・知人がおられる方もおられると思います。被災に会われた皆さま方にお見舞い申し上げますとともにお亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈り申し上げます。本日、パルテノン多摩入り口にて多摩市職員が被災地への募金をお願いしています。ご支援よろしくお願いいたします。

さて、皆さんは、既に 18 才となった時に選挙権を与えられ、
昨年 4 月には、多摩市議会議員選挙もありましたが、貴重な
一票を投じることはできましたか。いま、国政では、「政治とカネ」
の問題が問われています。ついに、1 月 7 日、昨日、現職の国会
議員が逮捕されるという事態にまで発展しました。政治資金パ
ーティ収入の一部を裏金化していたということですが、法律に
則った報告をせず、自由に使えるカネをつくるとは、まさに脱税
です。しかも何十年も行ってきたとしたら、政治への信頼を裏切
る、あってはならない危機的事態です。

私からすれば、裏金づくりに関与していた政治家は、派閥や
秘書任せにせず、逃げずにご自身で説明を行い、即刻、議員を
辞職すべきと申し上げます。選挙や政治は、遠い世界の出来事
ではありません。この国そして住んでいるまちの主役は私たち
市民です。主権在民です。ダメなものはダメ、と言い切ることが
できるのは有権者であり、特に若い皆さんの力です。

さらに、いくつかお話しします。やはり、何と言っても地球環境
問題です。国連のグテーレス事務総長は「もはや地球温暖化で
はない。地球沸騰化の時代」と話されました。2050 年までに

CO2の排出量をゼロにする、2030年までにはカーボンハーフを実現する、多摩市も、2020年6月に多摩市議会の皆さんと一緒に「多摩市気候非常事態宣言」を決議しました。

昨年、「多摩市気候市民会議」を開催し、中・高校生はじめ若い皆さんの声を中心に、145もの提案をいただきました。多摩市には、若い人たちが多摩の未来を切り開く「多摩市若者会議」というとても面白くユニークなグループもあります。皆さんも是非、ご参加ください。また、昨年、お笑いコンビ「マシンガンズ」で活動し、ゴミ収集会社に勤め、「ゴミ清掃芸人」として活躍している滝沢秀一さんを講師にお招きし、ペットボトルの分別などゴミ環境問題に関する講演会を開催しました。いろいろなエピソードを交え、ゴミ収集の苦勞と私たちにもできる地球環境問題への取り組みについてお話しいただきました。

多摩市は、昨年12月から、ペットボトルについてはキャップを外し、ラベルを外し、すすいだもののみを収集することとしました。ペットボトルからペットボトルにリサイクルできれば、石油由来の資源からペットボトルを作るのに比べCO2を約60%削減できます。ペットボトルの分別の徹底は、私たちにもできる最も身

近な「エコ活動」です。

もう一つ、戦争のない平和な社会を求める活動です。私は、ウクライナそしてパレスチナと多くの子どもや若い人々の命を奪っている戦火を憂えます。憎しみからは憎悪の連鎖しか生みません。分断と対立ではなく対話と熟議こそ大切です。現在、パレスチナのガザで起きていることは、ジェノサイドです。直ちに停戦を！と強く申し上げます。一人一人の人権が保障され、あらゆる差別のない平和な社会を共に創っていきましょう。

嬉しい話題を一つ。昨年12月、多摩市も応援している「東京ヴェルディ」が16年ぶりにJ1リーグに復帰しました。ぜひ、味の素スタジアムで開催される試合に、応援に来ていただきたい。私も「美味しいビールを飲もう！」と「東京ヴェルディ」を応援しています。スポーツや芸術・文化の力で、多摩市を元気にしていきましょう。皆さんの力が多摩市を変えます。

結びに、二十歳を迎えられた皆さん。皆さんの夢を実現すべく、未来に向け大いに羽ばたいて下さい。必ず春は来ます。私は皆さんのチャレンジを精一杯応援します。

本日はまことにおめでとうございます。